

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-232-711 (受付時間 土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		三菱ＵＦＪ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	三菱ＵＦＪ信託銀行 本店及び全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

■株主様のご住所・お名前等を使用する文字に関してのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続で必要となります。 このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。	
【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】 法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。 【主な支払調書】 ＊配当金に関する支払調書 ＊単元未満株式の買取・買増請求など株式の譲渡取引に関する支払調書	【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】 ●証券口座にて株式を管理されている株主様 お取引の証券会社までお問い合わせください。 ●証券会社とのお取引がない株主様 下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。 三菱ＵＦＪ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-232-711 (受付時間 土・日・祝日を除く9:00～17:00)

株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

会社法改正により、2022年9月1日に株主総会資料の電子提供制度が施行されました。この制度のもと、株主総会資料を当社ウェブサイト等に掲載させていただきます。

この制度においては、インターネットの利用が困難な株主様の事情に配慮して、今までどおりの書面での株主総会資料を受領するための「書面交付請求」の手続も設けられています。

2024年6月定時株主総会については、株主総会資料の書面での受領を希望される株主様は、2024年3月末日*までに「書面交付請求」をしていただく必要があります。

*株主総会の基準日がお手続の期限です。お手続に間に合わなかった場合は、書面交付はその次の株主総会からとなります。

お問い合わせ先

お取引のある証券会社 または
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル **0120-696-505**
9:00～ 17:00(土・日・祝日を除く)
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>





第83期 株主通信 [中間報告書]

2023年4月1日～2023年9月30日



■ ヒューテックグループ基本理念

- 1 わが社は、世界水準の製品を創り出すことにより、持続的な成長を遂げ、永遠の存在を目指す。
- 1 わが社は、国際社会に共生する一員であることを意識するとともに、法規等を遵守し、環境保全に努力する。
- 1 わが社は、すべての関係者・機関に調和のとれた満足を提供することを目指す。
- 1 わが社は、有意義な企業活動を展開することにより社会に貢献する。
- 1 わが社は、互いの価値を認め合う人々の集団であり、熱意をもって向上・革新へ挑戦していく。

■ 平河ヒューテックの製品



株主の皆様へ



代表取締役 執行役員社長

篠 祐一

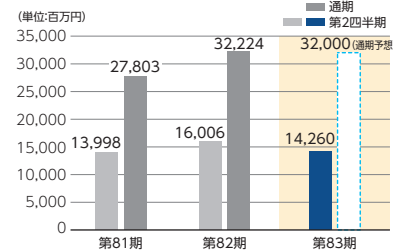
株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、車載市場においては半導体や部材の調達難の解消から堅調に推移しました。半導体関連の設備投資は調整局面が続き、産業機器市場においても調整の動きが強まり、先行きが不透明な状況が続いております。

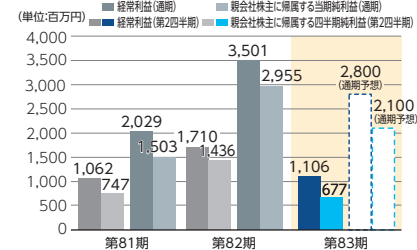
このような環境のもと、電線・加工品セグメントにおいては、半導体検査装置用ケーブルは半導体関連の設備投資抑制の動きが続き減少となり、半導体製造設備関連をはじめとした産業機器用ケーブル、その他ケーブル全般も減少しました。また、北米のエネルギー産業関連ケーブルは予定していた案件の失注や延伸があり大幅減少となりました。車載用ケーブルは自動車メーカーによる在庫調整の解消により前年同期水準まで回復し、医療用ケーブルは各医療機器向けが伸び増加、アミューズメント用は前年同期水準となりました。電子・医療部品セグメントにおいては、ネットワーク機器は専門用途品の売上が前年同期同様に好調な水準で推移し、EV用普通充電器の売上が伸長しました。医療部品の分野では医療用特殊チューブの売上は前年同期水準にて推移しました。

連結財務ハイライト

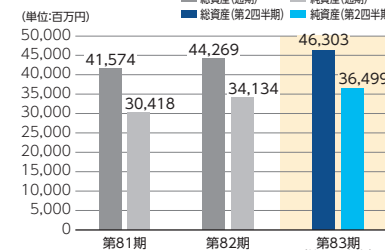
■ 売上高



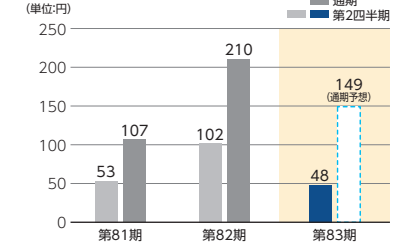
■ 経常利益／親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



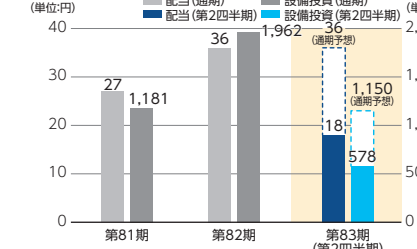
■ 総資産／純資産



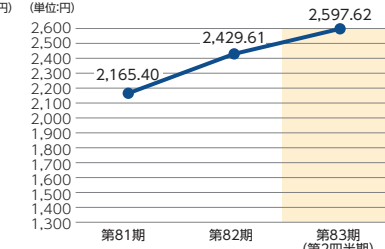
■ 1株当たり四半期(当期)純利益



■ 設備投資/配当



■ BPS(1株当たり純資産額)



以上の結果、売上高は142億60百万円(前年同期比10.9%減)となりました。売上高が減少したことにより、営業利益は7億72百万円(同39.3%減)となりました。為替の円安に伴う為替差益により、経常利益は11億6百万円(同35.3%減)となりました。前年同期に発生しました固定資産売却益5億64百万円(特別利益)、為替換算調整勘定取崩額1億44百万円(特別損失)は無くなり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億77百万円(同52.9%減)となりました。

当期の中間配当につきましては1株につき18円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善から緩やかな景気の回復が続いていますが、インフレの進行による各国の金融引締め継続、中国の不動産市場の停滞と個人消費の鈍化、ウクライナ紛争の長期化と、依然先行きが不透明となっております。当社の事業におきましては、当社が長年にわたって行ってきた電線・加工品分野、電子機器の分野における伝送特性の追求は、中長期で成長と需要が見込まれる半導体・産業機器・通信・医療・車の電装化・エネルギー・インフラといった分野で益々必要とされます。先行きの不確実性が増す中であっても、この伝送特性の追求という大路線を着実に進め、売上、利益の拡大に努めてまいります。

役員・従業員一同、一層の努力をしております。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)			(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (2023年9月30日現在)	前期 (2023年3月31日現在)	科 目	当第2四半期 (2023年9月30日現在)	前期 (2023年3月31日現在)
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流動資産	29,620	28,451	流動負債	6,226	6,823
現金及び預金	11,369	9,224	固定負債	3,577	3,311
受取手形、売掛金及び契約資産	8,464	9,125	2 負債合計	9,803	10,134
棚卸資産	9,337	9,496	(純 資 産 の 部)		
その他	449	604	株主資本	29,664	29,296
固定資産	16,682	15,817	資本金	1,555	1,555
有形固定資産	13,264	12,597	資本剰余金	1,459	1,459
無形固定資産	1,019	969	利益剰余金	28,991	28,622
投資その他の資産	2,399	2,250	自己株式	△2,340	△2,340
1 資産合計	46,303	44,269	その他の包括利益累計額	6,824	4,832
			非支配株主持分	9	4
			3 純資産合計	36,499	34,134
			負債純資産合計	46,303	44,269

POINT 1

資産合計は、前連結会計年度末に比べ20億33百万円増加し、463億3百万円となりました。主な増加は、現金及び預金21億45百万円、機械装置及び運搬具3億7百万円、建物及び構築物2億46百万円であり、主な減少は、受取手形、売掛金及び契約資産6億61百万円であります。

POINT 2

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億30百万円減少し、98億3百万円となりました。主な増加は、長期借入金1億97百万円、賞与引当金1億61百万円であり、主な減少は、支払手形及び買掛金10億91百万円であります。

POINT 3

純資産は、前連結会計年度末に比べ23億64百万円増加し、364億99百万円となりました。主な増加は、為替換算調整勘定18億97百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益6億77百万円であり、主な減少は、利益剰余金の配当3億9百万円であります。

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (2023年4月 1日から 2023年9月30日まで)	前第2四半期 (2022年4月 1日から 2022年9月30日まで)
売上高	14,260	16,006
売上原価	11,070	12,453
売上総利益	3,189	3,552
販売費及び一般管理費	2,417	2,278
営業利益	772	1,273
営業外収益	362	462
営業外費用	28	25
経常利益	1,106	1,710
特別利益	9	564
特別損失	－	148
税金等調整前四半期純利益	1,115	2,126
法人税、住民税及び事業税	466	697
法人税等調整額	△32	△7
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	677	1,436

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (2023年4月 1日から 2023年9月30日まで)	前第2四半期 (2022年4月 1日から 2022年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,838	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△619	1,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242	△654
現金及び現金同等物に係る換算差額	546	742
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,522	1,177
現金及び現金同等物の期首残高	7,499	7,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,022	9,049

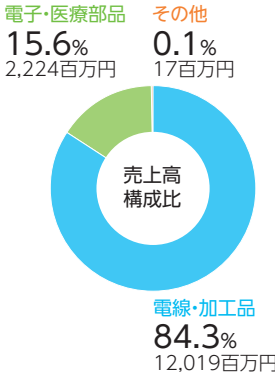
セグメント情報

電線・加工品

半導体検査装置用ケーブルは半導体関連の設備投資抑制の動きが続き減少となり、半導体製造設備関連をはじめとした産業機器用ケーブル、その他ケーブル全般も減少しました。また、北米のエネルギー産業関連ケーブルは予定していた案件の失注や延伸があり大幅減少となりました。車載用ケーブルは自動車メーカーによる在庫調整の解消により前年同期水準まで回復し、医療用ケーブルは各医療機器向けが伸び増加、アミューズメント用は前年同期水準となりました。以上により、売上高は120億19百万円(前年同期比13.8%減)となりました。売上の減少等により、セグメント利益は8億7百万円(同39.6%減)となりました。

電子・医療部品

ネットワーク機器は専門用途品の売上が前年同期同様に好調な水準で推移し、EV用普通充電器の売上が伸長しました。医療部品の分野では医療用特殊チューブの売上は前年同期水準にて推移しました。以上により、売上高は22億24百万円(前年同期比8.7%増)となりました。売上の増加等により、セグメント利益は4億26百万円(同13.6%増)となりました。



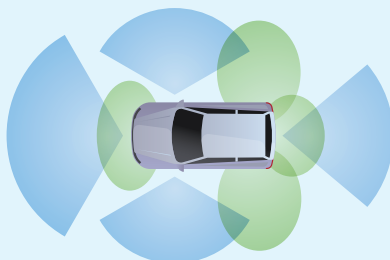
電線・加工品分野での領域拡大

当社グループは電線・加工品分野において、世のデジタル化の進展とともに歩んでまいりました。ケーブルの高速大容量、低遅延、高い信頼性といった伝送特性を追求することで、様々な領域にその活躍の場を広げています。

車載用

車の電装化の進展とともにカメラやセンサーと制御装置をつなぐ高速大容量かつ高い信頼性のケーブル需要が拡大しています。

カメラ
アンテナ
モニター
自動運転



フィリピン工場 ▶ 2023年量産開始

産業機器用

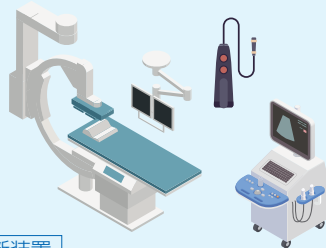
機械特性や様々な対候性もさることながら、装置間をつなぐ長距離伝送や、信頼性へのご要求も高く、当社ケーブルが活躍します。



ラインカメラ
ロボット
モーター

医療機器用

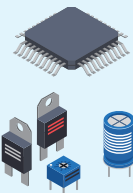
医療機器の性能向上や、高画質な画像への要求の高まりにより、伝送特性の優れたケーブルの需要が高まっています。



内視鏡用 X線装置 超音波診断装置

半導体検査装置用

半導体の電気特性の検査において、伝送路となるケーブルには高い性能が求められます。



スーパーコンピュータ サーバ/ストレージ用

増加する膨大なデータ量とともに、求められるケーブルの性能、伝送特性は高まる一方で、最先端の伝送技術を投入しています。



会社概要

商 号 平河ヒューテック株式会社
HIRAKAWA HEWTECH CORP.
設 立 1948年9月
資 本 金 15億5,507万760円
従 業 員 数 2,404名(連) 345名(単)

役 員 氏 名 (2023年9月30日現在)

ヒューテックグループ代表	隅 田 和 夫
取 締 役 会 長	篠 祐 一
代 表 取 締 役	目 黒 裕 次
取 締 役	湯 佐 富 治
社 外 取 締 役	沼 田 恵
社 外 取 締 役	戸 田 哲 郎
常 勤 監 査 役	橋 本 孝
社 外 監 査 役	阿 部 博
社 外 監 査 役	江 部 安 弘
執 行 役 員 社 長	篠 祐 一
執 行 役 員	澤 口 健 一
執 行 役 員	小 野 関 義 孝
執 行 役 員	林 繁 夫
執 行 役 員	佐 藤 彰 洋
執 行 役 員	佐 藤 光 則

ヒューテックグループ

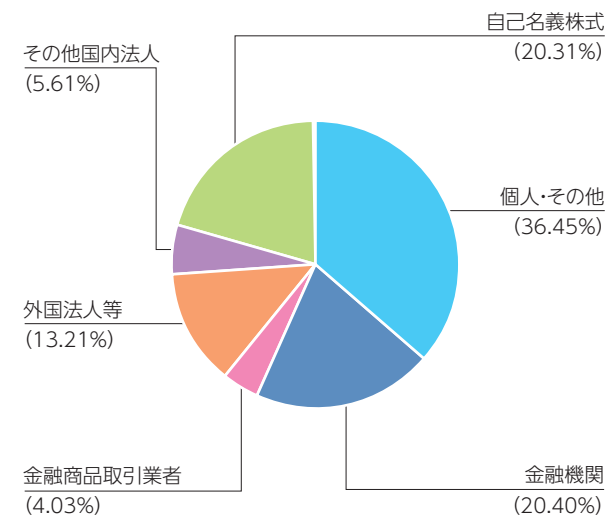
海外拠点

- 連結子会社(製造)
HIKAM ELECTRONICA DE MEXICO, S.A. DE C.V.
HIKAM TECNOLOGIA DE SINALOA, S.A. DE C.V.
HEWTECH (THAILAND) CO., LTD.
福泰克(惠州)電子有限公司
- 連結子会社(販売)
HIKAM AMERICA, INC.
上海河拓克貿易有限公司
福泰克香港有限公司
台湾福泰克股份有限公司
HEWTECH (BANGKOK) CO., LTD.
CONNPRO INDUSTRIES INC.
- 連結子会社(製造・販売)
福泰克(連雲港)電子有限公司
HEWTECH PHILIPPINES CORP.
HEWTECH PHILIPPINES ELECTRONICS CORP.

国内拠点

- 本社
- 営業拠点(営業所)
営業本部
東北営業所
中部営業所
関西営業所
BISAI東京オフィス
- 開発・生産(工場・事業所)
古河事業所
桃生工場
福島工場
新潟工場
- 連結子会社(製造・販売)
四国電線株式会社
株式会社新潟電子

所有者別株式分布状況



当社ホームページのご案内

<https://www.hewtech.co.jp/>

IR情報をはじめ、当社をよりご理解いただくための情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。